

ドクター・ピアニスト

上越教育大学附属小学校 五年 池田 寧花

「あなたのピアノの演奏には人の心にひびく何かがある。」とある演奏会でよび止められてその声をかけられた。「感動したよ。」とも言われた。ものすごくうれしかった。私のピアノでよろこんでくれる人がいる。思ってもみない事だった。

私の夢は医師兼ピアニストだ。医師になりたいと思つたのは、まず医療が私にとっていつも身近な存在であり、地域医療に向き合う父の後ろすがたを毎日見ているからだ。さらに医師を目指そうと思つたきっかけは五才年下の妹が入院した時だ。ぜん息の発作に苦しむ妹を治療してくれた。昼夜を問わず、いつ会っても妹が笑顔を取りもどせるよう、苦しみから救おうとしてくれた先生の一生懸命なすがたが私の目にとても格好良くうつつた事を覚えている。

音楽には人をいやす力がある。最近、音楽療法の存在を知った。ミュージック

セラピーとも言ひ音楽の持つ特性を利用したプログラムで患者さんに様々な良い効果をもたらすとされている。音楽をきいて気持ちがリフレッシュしたり、美しい音色に心がいやされたり元気付けられたり、時に勇気付けられたり、だれもが経験したことがあるように音楽には目には見えない数値では表わせない大きくて不思議なパワーがあるのだ。

ピアノの練習は大変だ。気持ちをこめて弾く前に、まず、楽ふにそつて正しく弾くことが求められる。その上、作曲家の意図や時代背景まで想像しなければならぬ。もし私がシヨパンだったら、ベートーヴェンだったら、そんな事を想像するのもさらいではない。医療にも通じる所があるのではないか。丁寧で正確であることは基本中の基本である。患者さんの心に寄りそう事が出来るように想像力は豊かである方が良い。

ピアノを演奏する事で音楽の持つ特別な力がたくさんの人々の心をいやす。私の演奏をちよう衆がよろこんできいてくれる。病気に苦しむ患者さんに笑顔を届ける。それは医師としてもピアニストとしても私にとって前に進む、生きる大きな原動力になっていくだろう。その夢を叶えるためにももちろん勉強も大切だが、一番大切な事はピアノを好きでいる事だ。「好きこそもの上手なれ」その言葉を信じて私は今日も私らしい音色を追い求めてピアノを練習する。

池田 寧花 のライフプラン

将来なにになりたいか? 医師兼ピアニスト (ドクター・ピアニスト)

その理由: 医師として多くの人々を苦しむから救い。ピアニストとして心をいやし、よろこびを届ける。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2023年	11才(小5)	英検3級合格・ピアノコンクール入賞	受験料 (入試代) (教材費、学費)
2024年	12才(小6)	英検準2級合格・ピアノコンクール入賞	受験料
2025年	13才(中1)	中学入学	渡航費
2026年	14才(中2)	英検2級合格	音楽短期留学 受験料
2026年	15才(中3)	受験勉強・ピアノコンクール入賞	
2027年	16才(高1)	志望校入学	音楽留学 渡航費
2028年	17才(高2)	受験勉強とピアノの両立	語学留学 ↓
2029年	18才(高3)	英検準1級合格	受験料
2030年	19才(大1)	大学(医学部)に入学 東京の祖母と暮らす	引越し代
2031年	20才(大2)	医学の勉強 ・長期間の休校利用	渡航費
2032年	21才(大3)	充実した学生生活!! ピアノマスタークラスを受講	受講料、サークル代
2033年	22才(大4)	音楽療法について・コンクール入賞 情報収集	趣味の費用
2034年	23才(大5)	国家試験に向けて勉強	
2035年	24才(大6)	卒業試験 医師国家試験合格!!	
2036年	25才	研修医として日々勉強した中 の国家試験合格後ピアノの練習を続ける	
2037年	26才	プライベートも充実させる!!	
2041年	30才	父と僅かロビーでコンサートを開く!!	改装費